

会議顛末書（要旨）

					記録者	仲村
供覧	会長	部長	課長	課長補佐・ グループリー ダー	主査・係長	グループ員
件名	令和2年度第1回龍ヶ崎市地域公共交通協議会					
日時	令和2年7月27日 午前10時～午前11時30分					
場所	龍ヶ崎市役所 5階 全員協議会室					
主催者	龍ヶ崎市都市整備部都市計画課交通政策グループ					
出席者	<p>【出席】18人（随行3名） 牧瀬委員，中村委員（代理参加：酒井氏），野上委員（代理参加：鈴木氏），大川委員，川上委員，池田委員（代理参加：中村氏），宮島委員，武藤委員，中島委員，野澤委員（代理参加：岡野氏），小菅委員，板谷委員，渡部委員，披田委員，吉野委員，川村委員，大竹委員，佐藤委員</p> <p>【欠席】0人</p> <p>【事務局】 都市整備部 宮本部長 都市計画課 落合課長，関口課長補佐，蛭原副主幹，記録者</p> <p>【傍聴者】 なし</p>					
会議内容 【次第】	1 開会 2 市長あいさつ 3 協議事項 4 その他 5 閉会					
【発言者】	【発言内容】					
事務局	<p>○傍聴者の報告 「龍ヶ崎市附属機関の会議の公開に関する条例」に基づき会議を公開することを報告。（傍聴者なし）</p> <p>○中山市長挨拶</p> <p>○委員紹介及び委嘱</p> <p>○「龍ヶ崎市地域公共交通協議会条例」に基づき，会議の開催要件（委員の過半数の参加）を満たしていることを報告。</p> <p>○会議録作成について ・会議録署名人の選出 渡部委員・小菅委員を指名し，了承。</p> <p>○会議の進行について ・会長，副会長の選任までの間，事務局により会議を進行。</p>					
事務局	<p>協議事項（1）会長・副会長の選出について 委員の改選がありましたことから，現在，会長・副会長の席が不在となっておりますので，当協議会の委員の中から会長・副会長を選出することとなります。会長・副会長の選出についてどなたかご意見等ございますでしょうか</p>					

大竹委員	事務局案はありますか？
事務局	<p>それでは、事務局案を発表させていただきます。</p> <p>まず、会長につきましては、地域公共交通に対して深い知見を有していらっしゃいます流通経済大学の板谷委員、また副会長には、長年まちづくりに携わっておられます龍ヶ崎市商工会の大竹委員のお二方に、前回に続きましてお願いしたいと思っております。</p> <p>委員の皆さまいかがでしょうか。</p>
	(異議なしの声)
事務局	<p>異議なしとのことですので、当協議会の会長に板谷委員、副会長に大竹委員を選任することで決定とさせていただきます。</p> <p>それではここからの会議の進行につきましては、地域公共交通協議会条例に従い、板谷会長をお願いいたします。</p>
板谷会長	<p>ただいま、当協議会の会長に選任をいただきました板谷でございます。本市における望ましい交通体系の構築と、公共交通の利便性の向上に向け、当協議会の運営に努めてまいりますので、各委員の皆様のご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、協議事項(2)『乗合タクシー新規事業者の参入について』、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	○資料に基づき説明
板谷会長	ただいまの説明につきましてご質問等があれば、挙手のうえご発言ください。
酒井氏	出発地から近い事業者を利用してくださいとありますが、出発地から遠い事業者へ予約の申し込みがあった場合、別の事業者への転送となるのか、電話を受けた事業者が予約を受けてくれるのか、こういった運用になるのでしょうか？
事務局	現時点では、近い事業者での利用に限らず、他方の事業者でも利用ができるような運用と考えております。
板谷会長	利用者が増えていくというのは大変好ましいことだと思いますが、実際どれぐらいの利用があるのか、時間帯による利用の差など、そのあたりの説明を追加していただけますか？
事務局	<p>平成31年度は、年間で5,186人の利用があります。さらに前年の平成30年度は5,051人の利用となっており、昨年度も増加傾向にあると言えます。</p> <p>乗車便ごとの利用者につきましては、最も利用者が多かったのが2便目で20.2%、次いで3便目が19.0%、4便目が17.7%となっています。</p> <p>目的地で最も多く利用されているのが済生会病院で59.5%と、過半数を占める利用になっています。</p>
板谷会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>便数としてはまだ余裕があるものの、最も多い利用が通院で、午前中に利用される方が多くなっています。こうした状況のため、事業者を増やした方が、ニーズに合ったサービスを提供できるということでこのような提案をいただいています。</p> <p>1日当たり15人程度という利用で、非常に多いという訳ではありませんが、事業者数を増やして対応していきたいということです。</p> <p>ほかに質問はございますでしょうか？</p>
酒井氏	例えば佐貫タクシーに電話して、予約がいっぱいだった場合は転送をしてもらえるのか、利用者が布川交通に電話するようになるのか、どのような形になるのでしょうか？
事務局	現状の想定では、利用者が再度電話をして予約を取っていただくこととしております。
酒井氏	その点については、今後の運用の中でということも思いますが、改善する考えはありますか？利用者が再度電話をかけるというのは不親切かと感じる部分もあります。コールセンターのようなものを設けるとか。
事務局	ご指摘いただいたように、利用者の方々からすれば、一度のお電話で予約が完了することが理想であると思っております。今後10月1日からの運用に向け、佐貫タクシー様、また布川交通様と話し合いをしていきたいと考えておりますので、そうした中で、ご指摘いた

	<p>だいた点についてどのような運用ができるのか検討していきたいと思います。</p>
板谷会長	<p>ほかにご質問はございますでしょうか？ 私からもう一点お伺いしたいのですが、予約の電話をして、お断りをしたという件数はどの程度あるのでしょうか？</p>
事務局	<p>市の方では把握しておりませんが、佐貫タクシー様ではいかがでしょうか？</p>
岡野氏	<p>現在、車両5台と予備車1台という少し余裕を持った体制で運行しておりますので、予約をお断りしたということはありません。</p>
板谷会長	<p>そこが一番の懸念材料で、使いたいのに断らざるを得ないという状況を改善していくという状況ではないということです。 ほかに質問はございますでしょうか？ よろしければ、協議事項（2）については資料のとおり承認としてよろしいでしょうか？</p>
	<p>（異議なしの声）</p>
板谷会長	<p>ありがとうございます。異議なしとのことですので、協議事項（2）については資料のとおり承認いたします。 続きまして、協議事項（3）『乗合タクシー 補助事業について』、事務局から説明してください。</p>
事務局	<p>○資料に基づき説明</p>
板谷会長	<p>ただいまの説明につきましてご質問等があれば、挙手のうえご発言ください。</p>
披田委員	<p>比較的順調に利用者は増えているとはいえ、事業全体としてみるとどうなのかなと思う部分があります。それは目的地が限定されているということです。これはコミュニティバスやその他の関連の中で限定を設けているものと想像しているのですが、今後の見直しという部分で、交通結節点であるJR龍ヶ崎市駅とか、利用者の年齢層を踏まえると済生会病院に限らず個別の医療機関とかが目的地になると状況も違ってくるのかなと思います。 そういう点で、今後の検討の有り様や考え方についてお伺いします。</p>
事務局	<p>その点につきましては、交通事業者、特にタクシー事業者のニーズを取ってしまうという部分もありますので、利用者の皆様のご要望なども踏まえながら、慎重に検討してまいりたいと考えております。</p>
披田委員	<p>そういうことになるのかもしれませんが、なおかつ目的地を増やすことによって、普段タクシーを使っていない方を掘り起こすという面もあるかと思えます。総合的な判断の中で決められる必要がありますので、もう決まってしまうからというのではなく、それぞれのタイミングで検討していただきたいと思えます。</p>
板谷会長	<p>ありがとうございます。ご意見として承りたいと思えます。 おっしゃるように、目的地はPDCAを回していくという観点からも、常にニーズに合ったものになっているかどうかなどを踏まえて検討していく必要がありますので、そういう意味では、見直しの時期が来たら、利用者あるいは市民全体へアンケートを取ってやっていくのが良いかと思えます。 ですので、少し長期的な課題として今後検討していくこととしたいと思えます。 その他いかがでしょうか？</p>
板谷会長	<p>今回は、新たな事業者様に参入いただくということ以外は、特に変更なく継続として計画を作成し、補助金を取りに行くというものです。 よろしければ、協議事項（3）については資料のとおり承認としてよろしいでしょうか？</p>
	<p>（異議なしの声）</p>
板谷会長	<p>ありがとうございます。異議なしとのことですので、協議事項（3）については資料のとおり承認いたします。 続きまして協議事項（4）『コミュニティバス運行計画の一部変更について』、事務局から説明してください。</p>

事務局	○資料に基づき説明
板谷会長	ただいまの説明につきましてご質問等があれば、挙手のうえご発言ください。
武藤委員	変更の実施日について、案件の重要性から言えば、お客様の目線に立って、ルート変更などを早くやるべきで、どれだけ譲っても名称の変更と同時にやるべきかと思うのですが、その点についてはいかがでしょうか？
事務局	実施日につきましては、運輸支局様への書類の提出や市民の皆様への周知期間などを踏まえ、少し余裕を持ったスケジュールとしております。 しかしながら、いただきましたご意見もごございますので、変更時期については検討したいと思います。 そこで運輸支局様にお聞きしたいのですが、この資料では1月4日から変更ということになっておりますが、例えば事務局や運行事業者様と協議の上、スケジュールを早められるとなった段階で、協議が調ったものとして対応させていただくことはできませんでしょうか？
牧瀬委員	運行事業者の準備が整った後に申請を出していただくことにはなりますが、認可がどの程度で降りるかというのがありますが、早めていただくことは我々としては構いません。 ですので、会議資料にある1月というスケジュールを12月とか、またはデマンドタクシーと同時期の10月とかに間に合ってしまうと、我々としては問題ありません。 一方で周知の期間もありますので、そこを考慮するとどうなのかなという部分はあります。
事務局	ありがとうございます。 周知の期間については、運輸支局様からの認可が下りてからの周知とした方がよろしいでしょうか？もしくは、当協議会が終了した後に、このような変更がありますということで、認可を待たずに周知を初めて良いのか、お伺いします。
牧瀬委員	当案件は路線の延長は絡みますか？
事務局	南が丘・長沖線は現在運行していない箇所を新たに運行することになりますので、そうした手続きも必要になるかと思えます。
武藤委員	協議会案件であれば1ヵ月で認可が下りますよね？
牧瀬委員	確かに協議会案件であれば、おっしゃるとおり処理期間を大幅に短縮しなければなりませんので、こちらとしては速やかに申請をいただいて、例えば10月とか11月というスケジュールを伝えていただければ、それに見合った形で処理をしていくことになると思います。
武藤委員	懸念しているのは路線延長ではなく、便が減るというダイヤ改正の部分です。今お話ししたように1ヶ月でできるものですから、周知期間についてはその後対応すれば十分確保できるものと思いますので、そのあたりを考えていただいて、修正するにしても同じタイミングでやった方がベターだと思いますので、ご考慮をお願いいたします。
牧瀬委員	周知のことでお答えできていなかったのですが、もしかしたら許可が下りないという可能性もありますので、できれば許可になってからお願いしたいと思います。 その中で、申請の進捗状況を内部で確認させていただいて、そろそろ許可が下りそうだということになれば、周知をしていただけるということもあると思いますので、その点については連携を密にやっていければと思います。
事務局	今いただきました点につきましては、事務局内で検討させていただきまして、具体的なスケジュールが固まりましたら、委員の皆様にお伝えするというので、よろしいでしょうか？
板谷委員	実施時期についてはご検討をいただくということとします。当協議会で承認いただければその事実は極めて重く、1ヶ月で認可が得られれば実施はいつでもよいとも言えますが、その一方でおっしゃっていただいたように周知期間が必要で、十分周知ができないと混乱のもとになり、早くしすぎるというのも考え物です。現行のダイヤから本数を増やす、運行時間を延長するといった純増であればよいのですが、便数の減少や運行経路の変更もありますので、拙速にやりすぎるとトラブルが発生するものと考えら

	<p>れます。合わせて周知の計画についても、しっかりとご検討いただければと思います。</p> <p>また、変更の時期については、私としては11～12月頃がよろしいかなと思いますが、今一度調整いただくということで、この場で承認をいただければ、改めて委員の皆様にご報告をいただくという形でいかがでしょうか？</p>
	(異議なしの声)
板谷会長	<p>ありがとうございます。ではそのような形で進めていただくようお願いいたします。周知に関しても、知らなかったということのないようにご対応をお願いします。</p> <p>その他、ルート、時刻の変更など、ニーズや実態に合わせて変更していくということでご提案をいただいておりますが、この中身についてもご質問、ご意見いただければと思いますがいかがでしょうか？</p> <p>特にご意見等なければ、基本的には資料のとおりご承認いただいたという形にしますが、変更時期については今後確定しましたらご報告をいただくという形でよろしいでしょうか？</p>
	(異議なしの声)
板谷会長	<p>ありがとうございます。ではこの内容で承認とさせていただきます。</p> <p>続きまして、協議事項(5)『龍ヶ崎市地域公共交通網形成計画 事業評価について』、事務局から説明してください。</p>
事務局	○資料に基づき説明
板谷会長	ただいまの説明につきましてご質問等があれば、挙手のうえご発言ください。
披田委員	17ページの数値目標に関して、一番基本的な公共交通の全体の利用実績が、平成27年度実績や平成33年度目標と比較して平成31年度実績が下回っています。この間、人口も減少しているのでもともとということはあると思いますが、それぞれの交通機関の時系列的な傾向があれば教えてください。
事務局	<p>まずコミュニティバスについてご説明させていただきます。平成31年度実績が197,776人となっておりますが、その前年度では192,745人、更にその前年度は191,939人となっております。平成27年度以降は19万人を少し越えるような数値で概ね横ばいとなっております。また昨年度実施しましたコミュニティバスの再編の結果、利用者が5,000人程度増加していると言えらるかと思います。</p> <p>続いて乗合タクシーにつきましては、平成31年度実績が5,186人、その前年度が5,051人、その前年度が3,940人、その前年度は3,006人、その前年度が2,105人となっております。平成27年度から平成30年度にかけては毎年概ね1,000人程度利用者が増加しております。平成30年度から平成31年度にかけては概ね150人程度の増加となっております。頭打ちになってきている部分もあるものと考えております。</p> <p>ここで、関東鉄道竜ヶ崎線や路線バスの運行について、関東鉄道様からお話をいただければと思いますがいかがでしょうか？</p>
宮島委員	数字は持ってきておりませんが、肌感覚としては減少しているものと感じております。特に通勤の方で、東京電力様の組織改編の影響を受けまして、一昨年度と昨年度を比較しますと大きく減少している状況です。
武藤委員	路線バスについても資料はありませんが、横ばいもしくは若干減少という感覚です。増える要素としては、本年4月から始まりました竜ヶ崎第一高校の附属中学校スクールバス利用者の将来の増加が考えられますが、現状は先ほど申し上げたとおりです。
披田委員	トータルで見て、市が直接関わるような部分については現状維持であっても、それ以外の部分に対してどのように手を打っていくのか。それを交通網形成計画の中でどのように考えているのか、事業者の責任だけでなく、市としてどのように関わっていくのか、傾向に対する分析、評価を教えてください。
事務局	交通網形成計画の中では、地域公共交通の利用促進団体に関する記載がありまして、板谷会長にもご参加いただいておりますが、龍ヶ崎市地域公共交通活性化協議会という団体を設立しております。その中で、関東鉄道竜ヶ崎線やコミュニティバスをはじめとした公共交通機関の利用促進を図っていくものとして、様々な事業を展開しております。資料17ページをご覧くださいますと、竜ヶ崎線を活用した国際交流や公共交通講

	<p>座、また竜ヶ崎一高、二高の皆様にご作成いただいた「竜鉄の歴史を探る2020」などを実施してまいりましたが、こうしたイベントを継続的に実施していくことで、市内外の皆様のマイレール意識、マイバス意識の向上を図ってまいりたいと考えております。一方で、こうした取り組みはすぐに数字として表れにくいものでもあると考えておりますので、時間をかけて取り組んでいきたいと考えております。</p>
披田委員	<p>いろいろご努力はいただいていると思いますが、市に関して言えば、コミュニティバスと関東鉄道竜ヶ崎線を一緒に使ってみるということを考えていただければ。コロッケと竜ヶ崎線は有名かと思いますが、そうしたものとコミュニティバスを絡めたり、一緒にキャンペーンを展開したりということも考えられてはいかがでしょうか。市民が年に数回でも竜ヶ崎線を使ってくれば利用者の上乗せになるのかなと思います。市民が竜ヶ崎線を使ってみようという工夫をしていかないと、関東鉄道様だけではなかなか難しい部分もあるのかなと思いますので。</p>
事務局	<p>コミュニティバスと関東鉄道竜ヶ崎線の連携につきましては、地域公共交通活性化協議会の中でも、皆様のご意見をいただきながら、よりよい施策を実施できるように検討してまいりたいと考えております。</p> <p>また、先日は関東鉄道竜ヶ崎線120周年記念と絡めまして、「竜ヶ崎線お掃除し隊&石拾い隊」というイベントを実施いたしました。沿線の環境美化及びマイレール意識の向上を目的として、沿線のごみ拾い及び客車庫周辺での石拾いを実施しました。参加者の中には、高校生や家族連れの方も多く、小さいころから、若いころから公共交通に触れていただくことで、今後、また将来竜ヶ崎線を使ってみようという気持ちにもつながると考えておりますので、こうしたイベントは今後も実施していきたいと考えております。</p>
板谷会長	<p>活性化協議会は、市民の皆様にご鉄道やコミバスを使っていただく、身近に感じていただくことを目的にイベントを実施しております。こうしたことをきっかけに公共交通に乗る回数を増やしていくということは継続してやっていくべきと考えています。しかしながら、イベントを実施しても、人口の緩やかな減少や、市街地中心部で大きな事業者が閉まってしまった場合などの影響で、通勤利用が減っていくということがあります。</p> <p>龍ヶ崎市の現状として、車を持っている方は車で移動されるのだらうと思いますが、年に数回でも公共交通を使ってもらえると違ってくるということは様々な場所で話をしていますが、市でも意識の向上や改善について力を入れてもらいたいというご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>その他いかがでしょうか？</p> <p>計画の評価については、外的な要因に関する部分以外はほぼ順調に計画を達成しているという評価ですが、この点についてもご意見があればご発言いただきたいと思います。いかがでしょうか？</p>
板谷会長	<p>私から一点お願いなのですが、継続していただきたいどれぐらいの人数が利用しているかというのはグラフ等でお示しいただければと思います。毎年というのが難しければ、直近の5年、10年という数字を出していただければよいのかなと思います。コミュニティバスや竜ヶ崎線の利用実績を出していただいて、順調に利用者が伸びていけばそのまま計画を進めていけばよいでしょうし、もし落ちてきてしまっているとしても、それが単純に悪いということではなく、市民で支えていかななくてはいけないという気持ちのきっかけにいただければと思います。年度初めの会議で昨年度までの実績を出していただいて、現状を皆さんと共有することが大切だと思いますので、ご対応よろしく願いいたします。</p> <p>その他いかがでしょうか？</p>
川上委員	<p>事業評価（5-2）新都市拠点地区などへのバスターミナルの設置の検討について、具体的な整備計画が示されていないと記載してありますが、これは具体的に場所も決まっていないという意味でしょうか？</p>
事務局	<p>これに関しましては、計画として載せられておりますが、具体的に実施するような状況には至っていないことから、このような評価としております。</p> <p>新都市拠点エリアに興味を持っていただいている事業者との話し合いの場は続けておりますが、開発の実施までには至らないという状況です。</p>

板谷会長	<p>そうしますと、網形成計画も年限がありますので、次回策定の際には現在の状況を踏まえたものにしていただければよいかと思います。</p> <p>ほかにご意見がないようであれば、原案のとおり承認ということでよろしいでしょうか？</p>
	(異議なしの声)
板谷会長	<p>ありがとうございます。協議事項(5)『龍ヶ崎市地域公共交通網形成計画 事業評価について』は、資料のとおり承認とさせていただきます。</p> <p>本日の議題については以上となります。多数ご意見をいただいておりますので、事務局ではそれを踏まえて上で事業を進めていただきたいと思います。</p> <p>それでは、「その他」の項目について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	○資料に基づき説明
板谷会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>乗合タクシーに関するアンケートの話も先ほどしましたが、まず今年度はコミュニティバス再編から1年が経過しますので、こうした内容でアンケートを実施するというごこととさせていただきます。</p>
披田委員	<p>アンケートについては調査票が出されていないのでなんとも言えませんが、よく行く目的地とか乗継利用といった項目が例としてありますが、このままだと踏み込みが少ないような感じがします。もう少し具体的に、ダイヤの頻度がどうか、どこがどうなればいいのかとか、どのようなインタビュー形式でやるのかといった手法にもよりますが、せっかくやられるのであれば、しっかりした調査票を作っていただきたいと思います。</p> <p>それとコミュニティバスを利用している人と利用したことのない人との差がある中で、パークアンドライドといったように自動車と公共交通の両方が利用できるような使い方、また片道は徒歩で片道は公共交通といったような使い方など、コミュニティバスと他の連携について掘り起こしていくような設問ができればと感じています。</p>
板谷会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>現状としては案ということで、質問や内容は今後詰めていくということになると思いますが、今おっしゃっていただいたような鉄道との利用の関係性なども調査していただけると良いと思います。</p> <p>そのほかいかがでしょうか？</p>
宮島委員	○資料に基づき「関東鉄道竜ヶ崎線120周年記念関連事業」について説明
板谷会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>どの交通事業者も新型コロナウイルスの影響で利用が大きく落ち込む中、こうしたイベントを積極的に仕掛けていただいています。また竜ヶ崎駅トイレもほぼ完成という状況になってきていて、大変ありがたいことだと感じています。</p> <p>以上でご準備いただいた次第の内容について全てご説明いただきました。</p> <p>特にご質問等ないようであれば、以上を持ちまして、本日の協議会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
令和2年 月 日	<u>議事録署名人</u>
令和2年 月 日	<u>議事録署名人</u>